

世界教会協議会（WCC）中央委員会からのイースター・メッセージ

2020年4月9日

十字架と復活の主にある姉妹兄弟の皆さん、

イースター（復活祭）を祝う時を迎えるにあたって、伝統的なキリスト者の挨拶を皆さんに送りたいと思います。これは、イエス・キリストの死からの復活に対する、また、そのことに込められた、世界に喜びと希望をもたらし、恐れと不安を打ち破る力強い解放のメッセージに対する確信を表すものです。

キリストは復活されました！まことに、復活されました！

今年、わたしたちは困難と苦痛に満ちた状況の中でイースターを迎えます。世界中に影響を及ぼしている新型コロナウイルス（COVID-19）の感染症の流行は、イースターの祝い方にも影響を及ぼしています。自分と他者のいのちを守るために、街を大勢で行進することはできません。イースターの喜びを表現した分かち合うための賛美歌やリタジーを教会で響かせることもできないのです。その代わりに、わたしたちは戸を閉ざした各自の家の中で、イースターの神秘を分かち合い、復活された主に出会うこととなります。多くの方が、恐れと不安にさいなまれています。心に傷を負ったり、分裂や孤立を経験したり、家族や教会員を失ったり亡くしたりしています。

しかし、このあまりに衝撃的で苦痛に満ちた状況にあってもなお、イースターのメッセージが勇気と希望を示す、喜びに満ちたものであることに変わりありません。

弟子たちと復活された主との最初の出会いは、まさにこれと似た状況の中で起こりました。その時、イエスの弟子たちは恐れて、自分たちのいのちを守るために戸に鍵をかけて部屋に集まっていました。すると彼らの真ん中に復活されたキリストが、平和をたずさえて来られたのです。弟子たちは大変驚き、怯えました。「そこで、イエスは言われた『なぜ、うろたえているのか。・・・まさしくわたしだ』」（ルカによる福音書 24 章 37 節～39 節）。

復活された主は、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です（ヘブライ人への手紙 13 章 8 節）。いのちによって死を打ち破り、希望によって恐れと不安を乗り越える力を

もって、神がキリストにおいて全世界を愛し、かえりみ続けてくださっている。イースターはそのことをわたしたちに思い起こさせ、勇気づけてくれます。

この状況を神の罰や怒りの現れであるなどと考える人に対してイースターは告げます。わたしたちの信じる神は、愛に満ちたお方であり、死ではなくいのちの源であり、いのちと愛の神であることを。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである」(ヨハネによる福音書 3 章 16 節、17 節)。

姉妹兄弟の皆さん。「キリストは復活されました！」というイースターの挨拶は、長い歴史を通して、キリスト者に、死、破壊、抑圧と隷属化、恐れ、疑い、そして不安に立ち向かう力と勇気を吹き込んできました。今わたしたちは新型コロナウイルスによる様々な困難に直面していますが、イースターを祝うこの時、わたしたち WCC が、祈りにおいて、また、わたしたちの共通の信仰と復活の主にある希望に固く立つことにおいて、皆さんと連帯していることをあらためてお伝えしたいと思います。「死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう」(コリントの信徒への手紙 I 15 章 55 節、57 節)。

世界教会協議会 (WCC) 中央委員会を代表して

議長 Dr Agnes Abuom

副議長 Metropolitan Prof. Dr Gennadios of Sassima

副議長 Bishop Mary Ann Swenson, Vice-moderator

総幹事代行 Rev. Prof. Dr Ioan Sauca

(翻訳：村瀬義史)